



校長室の窓から

まとめの学期に、「今を精一杯」!

新年明けましておめでとうございます。とは言いましたが、新年早々、地震に航空機の事故と、平穏な生活が失われるのを見ることになったつらい正月でした。そういった意味でも、今年も、四十六名の児童が元気に学校に来てくれることを願っています。そして、「今を精一杯」生活することを大事にしてほしいと強く願っています。勉強も遊びも生活も、とにかく「今を精一杯」生活してほしいと思います。

さて、今年、辰年です。辰とは竜（龍）のことですが、十二支では唯一、空想上・想像して創った生き物です。ほかはすべて実在の生き物なのに、なぜ空想上の竜が十二支に選ばれたのかでしょうか。家で子どもさんと調べていただけるとうれしいです。

始業式で、「竜にまつわる故事成語やことわざ」などと「まとめの学期となる三学期」について関連させ、次のような話をしました。

★「画竜点睛（がりょうてんせい）を欠く」とは、眼の描いてない竜の絵の最後に眼を描くと、その竜が絵から飛び出していったそうです。それくらい竜の眼を最後に描くか描かないかで大きな差が出ます。最後の肝心の部分が抜けないように一年間の最後の学期であるこの三学期、しっかりとまとめをしましょう。

★「竜頭蛇尾（りゅうとうだび）」とは、はじめは竜のように太く勢いがあるが、終わりは蛇のように細くふるわないことのとえです。今年、最初に誓った目標、三学期はじまりに決めた目標が、最初だけで終わらないように三学期最後まで続けて取り組むことができるようにしましょう。

今年一年も、神石小学校職員一同、児童の健やかな成長をしっかりと支援できるような取組を継続していきたいと考えております。保護者・地域の皆様には、本年も引き続き本校へのご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

校長 田丸 栄